

## 3 観光振興プログラム

### 概要

デスティネーションキャンペーン<sup>\*58</sup>の実施など、多様化するニーズに即した観光振興の取組を進めた結果、国内外からの本県への観光客が増加し、観光消費額も伸びてきました。こうした流れをさらに加速させるためには、本県の認知度を一層向上させ、地域経済へのプラス効果を高めていく必要があります。

このため、多様な主体と連携し、積極的に観光情報を発信するとともに、観光客の滞在時間の延長につながる取組を進めることにより、県内への誘客と観光消費の拡大を図ります。

また、さらなるインバウンドの拡大に向けて、国や地域の特性に応じた魅力発信や外国人旅行者の受入環境の充実に取り組みます。

### 生き生き指標

◎観光消費額	1,488 億円/年 ▶	1,700 億円/年
○観光入込客数	1,356 万人/年 ▶	1,500 万人/年
○延べ宿泊者数	511 万人/年 ▶	560 万人/年
○外国人旅行者宿泊者数	162,344 人/年 ▶	300,000 人/年
○岡山空港の国際線利用者数	15 万人/年 ▶	25 万人/年
○岡山後樂園の入園者数	817,260 人/年 ▶	900,000 人/年

### 重点施策

#### 岡山を満喫する滞在型観光の推進

観光資源の継続的な魅力アップに加え、朝や夜の時間帯を楽しむ観光プランや特長を生かした体験型メニューを提供することにより、県内での滞在時間の延長を図り、宿泊への誘導、飲食機会の増加など、観光消費の拡大につながる取組を進めます。

#### 多様な主体と連携した魅力発信

県内の市町村や観光事業者はもとより、広域エリアのDMO<sup>\*59</sup>や近隣県、民間企業など多様な主体と連携し、市場規模の大きい首都圏や関西圏、さらには海外に向けて、地域の魅力や広域観光周遊ルートを売り込むなど、県南から県北まで、広く誘客拡大に結び付く戦略的な観光プロモーションを展開します。

#### さらなるインバウンドの拡大と航空ネットワークの拡充

訪日客の増加が続くアジアの国・地域を主なターゲットに、積極的な情報発信による認知度の向上に取り組むとともに、それぞれの嗜好に合った体験型メニューの提供や外国人旅行者が快適に観光できる環境の充実を図ります。

また、岡山空港の国際路線の維持・拡充に努めるとともに、航空会社に対して、東アジア地域の主要都市を念頭に定期路線の開設に向けたチャーター便の運航などを働きかけていきます。

#### 岡山後樂園の魅力づくり

特別名勝にふさわしい保存整備に加え、さらなる利便性向上を図るとともに、にぎわいの創出、魅力発信につながる事業を岡山市等と連携して行うなど、外国人旅行者にも対応した国際的な観光施設として磨き上げに取り組み、国内外からの入園者数の増加を図ります。

### 推進施策

#### おもてなしの向上の推進

観光客と接する機会の多い観光関係者を中心に、率先しておもてなしに取り組む意識の向上を図ることで、本県を訪れる方々の満足感や印象度を高め、リピーターやファンの増加に結び付けるとともに、コンベンションの開催支援等に努め、選ばれる観光地づくりを推進します。

#### 観光資源としての自然や文化の積極的な活用

豊かな自然や優れた景観、歴史遺産、伝統文化など地域固有の文化資源等の適切な保存・継承、自然公園の魅力向上や、文化イベントの充実などを通じて、オンリーワンの観光資源として磨き上げ、積極的な活用に取り組みます。

#### 港を中心としたにぎわい空間の創出

宇野港へのクルーズ客船の寄港を進めるためのポートセールスの積極的な展開など、港を中心としたにぎわい空間の創出を図ります。

#### サイクリングを通じた観光振興

サイクリングを通じ地域に多くの人を呼び込み、観光振興や賑わい創出につなげるため、サイクリング推奨ルート<sup>\*60</sup>にルートを示す路面標示や案内看板を整備するなど、市町村等と連携しながら快適で安全な自転車走行空間を提供します。

#### 公衆無線LAN環境の充実

全国に先駆けて整備した「おかやまモバイルスポット<sup>\*61</sup>」を民間事業者が提供するサービスと連携させるとともに、官民一体となって「ご当地Wi-Fi<sup>\*62</sup>」の普及を図り、岡山を訪れた外国人旅行者をはじめ、誰もが利用しやすい公衆無線LAN環境を整備します。

関係部局

産業労働部、県民生活部、環境文化部、土木部、教育委員会

\*印の内容についてはP77～P82の「用語集」をご覧ください。